道路状況と交通

国道を中心に幹線道路を使ったシンプルなコース設定である。細部では山間での草木の落下物や路面荒れの指摘もあるが、全体としては分岐や交差点、信号がコース全域において少なく、概ね路面状態もよく、わかりやすく走りやすい道。ただし、天城峠とその前後区間の国道414号と、河津川河口から下田への国道 136 号は、起伏とともに交通量があり、路側帯が狭いことで車とのストレスがあり、初心者には難易度の高い区間となる。また、河津桜の時期には交通量、歩行者が増加するなど季節によって道路状況などが一変することは、伊豆ならではの地域個性として頭に入れておきたい。

1

2

3

E

F

A

B

C

D

D

D

G

H

I

セクション１:総評

修善寺駅周辺は歩道と車道の段差、鮎見橋から明徳時までの県道区間は、部分的に路面の凸凹や荒れた箇所もあるが、大きな問題ではない。小さなアップダウン、国道に出てからは緩やかな登りが続く。交通量がこれ以上増えるとストレスに感じるだろう。細々した指摘はあったものの、全体的に走りやすい。

セクション２:総評

天城峠を超える区間。指摘の多くは、トンネル通過時と下り坂への注意である。トンネルごとに照度が異なり、かつ基本的に暗いため、路面状況が確認しにくい。下り坂は斜度が急で長く続くため、オーバースピードになりやすい。深いカーブも多く、走り慣れない方や集団での走行には特に注意が必要。

セクション３:総評

下り坂の斜度も次第に落ち、きついコーナーも少なくなり、路肩も広がっていく。天城峠直後の下り坂より走りやすくなる。河津桜の堤防通過時は歩行者に注意が必要で、桜の開花期には特に注意したい。また、景色に見とれて一旦停止や車止めのポールに注意したい。

セクション４:総評

海岸線に出ると、下田まで大き目なアップダウンを繰り返し、体力を要する。路面には荒れたところがあり、白線の凹凸加工は注意したい。白浜など著名な観光スポットがあり、交通量が多い割に車道も路側帯も幅に余裕がない。自転車も車もお互いストレスを感じるだろう。観光地なので運転に慣れない車にも特に注意したい。